








上下水道局

令和3年度 重点目標



- 1 持続可能な事業運営の推進
- 2 きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進
- 3 上水道施設の計画的な維持・更新
- 4 下水道施設の計画的な維持・更新
- 5 危機管理体制の充実

重点目標	持続可能な事業運営の推進		部局名	上下水道局	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	2 人と自然にやさしい誰もが住みやすい環境のまちづくり		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 給水人口の減少や節水意識の高まり等により料金収入が減少する一方で、上下水道施設の更新や耐震化費用の増加が見込まれることから、上下水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。こうした状況に対応するため、平成31年3月に策定した「水道ビジョン」、「下水道ビジョン」及び令和2年2月に改定した上下水道事業経営戦略を踏まえ、定期的に事業を見直ししながら、健全な経営を進めていく必要があります。 令和2年度の上水道審議会において、令和3年度から6年度までの水道料金の基本料金について平均改定率8.3%の引上げについて答申を受けました。なお、答申では下水道料金は据置くことが適当とされました。この答申を受け、健全経営による持続可能な事業運営を推進していくため、水道料金の改定を進めていく必要があります。 水道料金の引上げについては、引上げに至った経緯及びその必要性について、水道利用者に広報し周知する必要があります。 熟練技術者の退職や異動により、技術力の確保や継承が年々難しくなっていることから、危機管理も考慮した人員体制の充実を図っていく必要があります。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ビジョンや経営戦略に沿って事業を推進することで、財源とバランスのとれた投資を行うことが可能になります。 水道料金については、平均改定率8.3%の引上げを行うことにより、持続可能な事業運営のための収入を確保することが可能になります。 広報により水道料金の引上げの必要性について水道利用者に御理解いただき引上げ分を負担していただきます。 職員が計画的に研修受講や資格取得を行い、次の世代につなげる人材育成を行います。 給水区域が隣接する県企業局・長野市・上田市・千曲市・坂城町の5事業体で構成する水道事業連携研究会に参加し、広域連携の研究を進め、経営の合理化について検討します。 		該当するSDGsの目標			
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① 上下水道料金の改定 上下水道審議会の答申を踏まえ、水道料金の基本料金について平均改定率8.3%の引上げの手続きを進める。	10月	6月 条例改正を議会へ上程 議決後、料金改定に向けた周知 広報うえだ掲載、行政チャンネル放送、 検針票にてお知らせ等 10月 水道料金の改定	6月議会、条例改正可決成立 9月 広報うえだ、ホームページ、行政チャンネルにおいて周知及び給水区域配布用チラシ作成	6月議会、条例改正可決成立 9月 広報うえだ、ホームページ、行政チャンネルにおいて周知及び給水区域配布用チラシ作成 10月以降 チラシ配布（窓口・投函・郵送）、「上下水道使用料のお知らせ」により周知		
② 広報活動の充実 (1) 広報うえだへの記事掲載 (2) 環境フェアへの出展 (3) 施設見学バスハイクの実施	(1) 8月、1月 (2) 10月 (3) 9月～11月	(1) 年2回掲載（うち料金改定含む） (2) パネル展示、水道水飲み比べ等 (3) 上下水道関連施設を見学	(1) 広報うえだ9月号（料金改定）掲載	(1) 広報うえだ9月号（料金改定）掲載 (2) 新型コロナウイルス感染予防対策のため中止 (3) 新型コロナウイルス感染予防対策のため中止		
③ 人材の育成 継続的な外部研修の受講促進や資格取得の奨励による人材育成の実施	4月～3月	外部研修・資格取得研修受講 ・事務系講習会 延べ5人 ・上下水道技術関係 延べ25人 ・作業資格取得講習会 延べ10人	外部研修・資格取得研修受講(9月末現在) ・事務系講習会 延べ7人 ・上下水道技術関係 延べ9人 ・作業資格取得講習会 延べ7人	外部研修・資格取得研修受講 ・事務系講習会 延べ28人 ・上下水道技術関係 延べ19人 ・作業資格取得講習会 延べ13人		
④ 収納率の向上 水道料金・下水道使用料（現年度分）	4月～3月	収納率 ・水道 99.48%以上 ・下水道 99.35%以上	収納率 水道 99.04%（9月末現在、前年同期98.47%） 下水道 98.96%（9月末現在、前年同期98.49%）	収納率 水道99.53%、下水道99.50%、計99.51% （参考） 令和2年度 水道99.48%、下水道99.35% 計99.40% 令和元年度 水道99.35%、下水道99.28% 計99.31%		
⑤ 水洗化の促進 公共下水道地域、農業集落排水事業地域の戸別訪問等による水洗化促進の実施	4月～3月	新規接続戸数 750戸	新規接続戸数 469戸（9月末現在、目標達成率62.5%、前年同期370戸）	新規接続戸数 1,020戸 136.0% （参考） 令和2年度 目標750戸に対し1,032戸接続 令和元年度 目標750戸に対し 851戸接続		
⑥ 広域連携に係る研究・検討	4月～3月	全体会、各分科会への参加	研究会 2回参加 幹事会 6回参加	研究会 4回参加 幹事会 28回参加 財務担当者会議 3回参加		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題			

重点目標	きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進			部局名	上下水道局	優先順位	2位	
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続			上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	2 人と自然にやさしい誰もが住みやすい環境のまちづくり			
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け (2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築								
現況・課題	<p>・上水道の水源は、河川の表流水、ダム水、地下水、湧水など28箇所あります。このうち、湧水水源の一部には、降雨時における濁質やクリプト汚染等による影響により、水質が不安定になることから、この対策が急務となっています。このような湧水水源に対しては、この上流域で水質が安定し水量が豊富な湧水水源による給水に切り替えを進めているところですが、これらの水源の有効活用により維持管理の軽減が求められています。</p>							
目的・効果	<p>・安定した湧水の活用を行うことにより、気象の影響を受けやすい湧水水源の代替や、配水系統間の相互融通や水運用の改善が図られ、より良質で経済的な水の供給が可能となります。 ・安全安心な水道を将来に渡って維持し、持続的な水道水の供給を確保するため、水質管理体制の強化を図ります。</p>				該当するSDGsの目標			
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度) 及び (中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①	○水源の安全性向上 水源の水質検査強化	4月～3月	クリプトスピリウム検査 14箇所 29検体 指標菌検査 20箇所 90検体	クリプトスピリウム検査 9箇所 14検体 指標菌検査 20箇所 49検体 ※ 結果：水質への影響はない。		クリプトスピリウム検査 14箇所 29検体 検査完了 指標菌検査 20箇所 90検体 検査完了 ※年間水質への影響なし		
②	○水質監視体制の強化 検査機器の更新	4月～3月	試薬保管冷蔵庫 1台 ドラフト 1式 濁度計 1箇所 pH計 2箇所 残留塩素計 2箇所	ドラフトチャンバー 8月納入業者決定 pH計更新 鹿教湯2箇所 残留塩素計更新 鹿教湯1箇所 ※ 上記、実施中 上田地域9月末発注準備中		<ul style="list-style-type: none"> ・ドラフトチャンバー 12月機器更新完了 ・試薬保管冷蔵庫 3月納入予定 ・pH計：2台（鹿教湯浄水場）2月完了 ・石舟浄水場 次年度に繰越 ・残留塩素計 鹿教湯浄水場 1台2月完了 ・染屋第1 次年度に繰越 ・浄水濁度計（染屋第4配水池）次年度に繰越 ※遅延理由：半導体不足の影響による 		
③	○真田地域簡易水道統合事業の完了 つちや水源を活用した新たな導・配水施設の整備	令和3年中	真田地域の長・本原地区への給水開始	12月末の給水開始に向け関係工事の実施 通水に伴う施設の洗浄作業の開始		<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年12月下旬に本原地区への給水開始（一部地域を除く） ・令和4年2月上旬に長地区への給水開始（一部地域を除く） 		
④	○地下水源の運用拡大整備事業の推進 滝の入水源を活用した新たな導・配水施設の整備	4月～3月	滝の入水源整備における各種届出、事業実施に伴う各種許可申請事務、工事着手	各種届出事務（委託業務の発注準備）		<ul style="list-style-type: none"> ・各種届出に関する事務（委託業務の発注完了・事前協議開始） ※令和4年度各種届出の申請予定 		
⑤								
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題				

重点目標	上水道施設の計画的な維持・更新		部局名	上下水道局	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け		2 人と自然にやさしい誰もが住みやすい環境のまちづくり	
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築					
現況・課題	・上水道の施設及び管路は老朽化が進行し、特に1980年から2000年の敷設ピーク時の管路が今後、更新時期を迎えることになるため、法定耐用年数（40年）を経過した老朽管が年々増加してきます。また、耐震化率が低い水準にあることから、大規模地震が発生した場合、水道水を供給する機能の多くが損なわれる可能性があることから、老朽施設の更新や耐震化を早急に進めて行く必要があります。					
目的・効果	・老朽化した水道施設や管路の更新及び耐震化は、市民生活に欠くことのできないライフラインである上水道の強靱化を進めるために必要不可欠な事業であり、施設の更新に当たっては、アセットマネジメントによる更新需要と中長期的な財政推計を踏まえながら、計画的に進めてまいります。また、上水道管路の計画的更新や耐震化は、日常の管破裂や漏水などの減少につながることから、有収率の向上が期待できます。			該当するSDGsの目標	  	
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○上水道基幹管路の耐震化及び経年管の更新、有収率の向上	4月～3月	更新延長 L=2.0km （真田地域簡易水道統合事業を除く） 有収率 85%	更新延長 L=2.2km（上田真田1.5km・丸子武石0.7km）発注済 （真田地域簡易水道統合事業を除く） 有収率 84.37%（9月末現在。前年同期 84.06%） 丸子地域 L=311.0m発注、L=709.0m発注手続中 武石地域 L=288.0m設計中 ※ 漏水調査（委託）を実施中。発見された漏水箇所を順次修理していく。	更新延長 L=2.85km（上田1.07km・真田0.17km・菅平0.31km・丸子1.01km・武石0.29km） （真田地域簡易水道統合事業を除く） 有収率84.24%（前年同期84.10%） 漏水調査により発見された44箇所の漏水（268,004m ³ /年）は修理困難箇所を除き完了	
②	○計画的な水道施設耐震化等の推進 (1) 浄水場、配水池の耐震診断の実施 (2) 耐震補強工事の推進	4月～3月	(1) 丸子地域 6箇所 武石地域 3箇所 (2) 詳細設計 3箇所	(1) 丸子武石地域（腰越浄水場浄水施設及び管理棟、腰越低区第1・第2配水池、腰越高区配水池、新屋配水池、虚空蔵配水池、武石中央第1配水池、武石中央第3配水池、武石中央第4配水池）診断業務実施中 (2) 石舟浄水場ろ過池5池、神科配水池、鹿教湯浄水池詳細設計実施中	(1) 耐震診断業務において追加調査が必要となり工期延長により次年度に繰越（上田地域1箇所、丸子地域6箇所、武石地域3箇所） (2) 耐震補強詳細設計3箇所完了	
③	○ポンプ設備更新 ポンプ及び自家発電機	4月～3月	上田地域 3箇所 丸子地域 2箇所	上田地域：氷沢・山口・上洞ポンプ更新工事、泉町ポンプ詳細設計 丸子地域：茂沢加圧ポンプ更新工事、南原非常用電機設置工事 ※ 上記、工事施工中及び設計実施中	・上田地域：氷沢、山口、上洞3箇所のポンプ更新及び久保田ポンプ制御盤更新工事を発注し1箇所（氷沢）完了 ・丸子地域：茂沢加圧ポンプ更新工事は機器調達遅延により来年度へ繰越、南原非常用電機設置工事完了 委託 ・泉町ポンプ更新設計完了	
④	○浄水場等設備更新 遠方監視設備ほか	4月～3月	上田地域 3箇所 丸子地域 1箇所	上田地域：染屋浄水場次亜注入設備更新工事、染屋・石舟浄水場流量計更新工事、長入水源井戸更新に伴う調査 丸子地域：鹿教湯浄水場ろ過設備更新 ※ 上記、工事施工中及び調査実施中	上田地域：染屋浄水場次亜注入設備更新工事3月完了・染屋、石舟浄水場流量計更新工事9月完了、長入水源井戸更新に伴う水源探査完了 丸子地域：鹿教湯浄水場ろ過設備更新工事3月完了	
⑤						
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		

重点目標	下水道施設の計画的な維持・更新			部局名	上下水道局	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続			上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	2 人と自然にやさしい誰もが住みやすい環境のまちづくり		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道が建設から維持管理の時代に移行していく中、施設の老朽化が課題となっており、老朽化が進む施設の計画的な更新を図るため、下水道施設長寿命化計画及び後継計画であるストックマネジメント計画を策定し事業を実施しています。今後は、安定した下水処理を維持するため、長期的な計画に基づいた施設の更新を実施していく必要があります。 ・人口の減少や少子高齢化の進展、省エネルギー化など、社会情勢の変化に伴い、市民のライフスタイルも大きく変わる中、下水道事業も建設から維持管理へと大きく役割が変わってきており、維持管理の効率化を図る必要があります。 ・下水道施設の維持管理の効率化を更に図る上で、公共下水道施設への接続が有利と思われる農業集落排水施設については、公共下水道との統合についても検討が必要です。 						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した下水処理を確保するため、下水道施設長寿命化計画及びストックマネジメント計画による施設の更新を図ります。 ・社会情勢の変化に対応した効率的な施設の維持管理を図るため、農業集落排水施設と公共下水道施設の統合計画を進めます。 			該当するSDGsの目標	  		
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度) 及び (中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○し尿前処理下水道投入施設関連（南部終末処理場） 南部終末処理場汚泥処理棟改築（増築）工事 (1) 建屋増築・土木工事 (2) 機械・電気設備工事	4月～3月	(1) 外構・建屋増築工事の実施 (2) 機械・電気設備工事の実施	(1) 建屋増築工事の実施 4月 協定締結済(日本下水道事業団) 建屋増築工事 施工中(進捗率75%) (2) 機械・電気設備工事の実施 4月 協定締結済(日本下水道事業団)		(1) 建屋増築・土木工事完了 既設汚泥処理棟の改造工事は次年度に繰越 (2) 機械・電気設備工事 10月に施工業者契約済	
②	○長寿命化事業・ストックマネジメント事業及び耐震化事業の実施 (1) 上田終末処理場の設備更新工事 (2) 真田浄化センターの設備更新・耐震化工事 (3) 上・下塩尻ポンプ場、神川東ポンプ場 圧送管二条化工事 (4) 鉄蓋更新工事	4月～3月	(1) 設備更新工事の実施 (2) 設備更新、耐震化工事の実施 (3) 圧送管二条化工事の実施 (4) 更新工事の実施	(1) 上田終末処理場 設備更新工事の実施 4月 協定締結済(日本下水道事業団) (2) 真田浄化センター設備更新・耐震化工事の実施 4月 協定締結済(日本下水道事業団) (3) 圧送管二条化工事の実施 8月 契約済。施工中(進捗率5%) (4) 鉄蓋更新工事の実施 4月 契約済。7月施工完了 西内工区N=42枚 国庫補助金付かず保留中 管渠更生工事西内工区L=211.38m発注手続中 管口耐震化工事西内工区N=10箇所発注手続中		(1) 設備更新工事施工中(進捗率55%) (2) 設備更新工事、耐震化工事施工中(進捗率45%) (3) 圧送管二条化工事(進捗率90%) (4) 更新工事の実施 上田南部鉄蓋更新工事 N=2枚 工事完了 管渠更生工事西内工区 L=211.58m 工事完了 管口耐震化工事西内工区 N=10箇所 工事完了	
③	○農業集落排水施設統合事業の推進 (1) 豊殿南部 (2) 本原 (3) 余里小沢根	4月～3月	(1)～(3) 財産調査の実施	(1)～(3) 財産調査の実施 上田地域 2箇所(豊殿南部ほか) 10月入札予定 ※ 実施箇所を本原から山田へ変更 (3) 余里小沢根 農業集落排水処理施設武石地域統合検討業務委託 発注手続中(10月入札予定)		(1)～(3) 財産調査の実施 統合に向けた現地調査、経済比較検討実施済	
④	○農業集落排水施設の機能強化事業の実施 (1) 上洗馬処理場の機能強化工事 (2) 富士山処理場の機能強化実施設計	4月～3月	(1) 機能強化工事の実施 (2) 機能強化実施設計の実施	(1)～(3) 機能強化工事の実施、機能強化実施設計の実施 ※ 国庫補助の交付が未決定(9月現在) 決定次第、実施予定(11月予定)		(1) 実施設計完了 機能強化工事は次年度に繰越 (2) 劣化調査業務は次年度に繰越	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

重点目標	危機管理体制の充実			部局名	上下水道局	優先順位	5位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続			上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	2 人と自然にやさしい誰もが住みやすい環境のまちづくり		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築					
現況・課題	・上下水道建設から維持に携わってきた熟練技術者の退職や職員異動等により、災害時に迅速に対応できる技術の確保が課題となっています。大規模災害などに備え、災害時の応急給水活動体制など、ソフト面での対応が必要です。						
目的・効果	・施設の更新や耐震化は限られた財源の中で進めて行くことから長い期間を要します。しかし、自然災害はいつ発生するかわからず、施設の耐震化が不完全なうちに起ることも想定されます。そのため、災害が発生した際の復旧体制や応急対策を整えておくことは、迅速な災害復旧対応に繋がります。				該当するSDGsの目標		
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①	○防災訓練の実施 防災訓練の実施による危機管理対応能力の向上	4月～3月	応急給水訓練 2回 県水との緊急連絡管操作訓練 1回 灯油等流入事故対応訓練 1回 他水道事業体との合同訓練 1回	コロナ禍の影響で延期となったため後期にて実施予定 ※ 灯油等流入事故訓練及びその他訓練の同時開催日程を調整中 【丸子・武石】 応急給水訓練 後期で計画 県水との緊急連絡管操作訓練8/11予定 コロナ対策で中止	応急給水訓練 1回（11/24実施） 県水との緊急連絡管操作訓練は新型コロナウイルス感染予防対策のため中止 灯油等流入事故対応訓練 1回（11/24実施） 他水道事業体との合同訓練 1回（11/9実施）		
②	○災害時等、緊急時の体制整備	4月～3月	危機管理マニュアルの見直し	マニュアル改訂は後期で実施 【丸子・武石】 重要施設緊急操作研修 後期で計画	一部改訂済み。残りの見直しについては来年度以降実施予定		
③	○防災備品の拡充	4月～3月	応急給水タンク 5基 応急給水栓 5基	応急給水タンク 4基発注済 応急給水栓 5基購入済	応急給水タンク 4基整備（物価上昇により4基整備） 応急給水栓 5基整備		
④							
⑤							
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			